



実践クラブ  
馬渡 光春 議員

### 問 人口減少対策

- Q** ①「島原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の状況と効果は？
- Q** ②新卒高校生の就職状況は？帰省者のための窓口設置を。
- Q** ③人口減少が市や地域に与える影響は？
- Q** ④人口減少への危機感を市民全体で共有を図れ！

- A** ①移住定住は目標以上の28世帯36人、窓口相談は176件、出生数は350人等、一定の効果はみられ人口減少に歯止めをかけた。
- ②市内34人、県内27人、県外68人、未内定3人。窓口は移住定住施策と合わせ啓発する。
- ③産業の停滞、住民サービス、地域交通、地域コミュニティの低下等、大きな影響がある。
- ④危機感を市民全体で共有するのが重要。「公共施設等総合管理計画」の推進が不可欠である。

### 問 子育て支援事業

- Q** 10月から国の「幼児教育支援事業」が始まるが、
- ①市の子育て支援事業への影響は。
- ②3〜5歳児の副食代の費用が発生するが、市の支援を考えるべきでは？
- Q** ③支援事業の内容や費用の啓発は？

- A** ①国の幼児教育無償化の対象園児は1981人中934人、7400万円の負担減。
- ②副食費は園ごとの実費となり、市の支援は今後検討したい。
- ③経費の内容など、行政の思いを伝える啓発のよい機会と思う。

### 問 島原城築城400周年

- Q** ①主な事業と経費は？
- Q** ②市民の関心を高める事業は？
- Q** ③一口城主やしまばらふるさと寄付金での財源確保を。
- Q** ④貴重な「心字池」の早期整備の促進を。

- A** ①3専門部会で検討し、市民対象事業に150万円を予算化。
- ②記念の関連事業を促進し、機運の醸成を図りたい。
- ③寄付金の項目に追加予定。一口城主も可能と思う。
- ④景観に配慮した柵の設置を検討したい。



新風会  
永田 光臣 議員

### 問 人口減少対策

- Q** 出生数を増やすための対策は。
- A** 婚活事業、積極的な子育て支援策、産業振興策などを実施。

- Q** 婚活事業の成果は。

- A** 26年度から実施、成婚が6組。

- Q** 少子化は農家戸数減も要因、農家の戸数を減らさない施策を。

- A** 農業基盤整備を行い、農家の大規模機械化、法人化を応援する。

- Q** 郷土愛を育み、ふるさとの将来を考える子供を育ててほしい。愛情を持ち子供に地域等との関係を伝えることは、定住につながる。

- A** 議員と同感。郷土愛を育むため、人・もの（自然）・こと（伝統行事）を知らせることが大事。人を知り愛する、身近な人を愛する気持ちを育

てるのが学校教育の責務。

**Q** 子供に夢を抱かせることも大切だが、現実の厳しいリスクを教えることも大切。島原でも幸せな生活が送れることも教えるべき。そのためにも地方分権を進めてほしい。

- A** 予算の獲得など中央集権主義の壁を感じる。都会でも田舎暮らしに憧れを持つ人もおり、田舎のよさを情報発信し続けたい。他の地域を知り初めてふるさとのすばらしさを実感できることもある。島原のよさを教えていきたい。

### 問 学校の課外活動

- Q** 子供の未来の可能性を膨らませるのが大人の役割で、子供がスポーツや文化面等で活躍できる環境整備が必要と思う。部員数減で対外試合が組めない部活もあるようだが、対策は。

- A** 学校を超えた部活動同士の合同チーム、総合型地域スポーツクラブなどの環境整備が必要と感ずる。

### 【その他の質問項目】

- ◇学校のトイレ事情について
- ◇社会インフラについて
- ◇農業振興策について